

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:滋賀県甲賀市

1. 事業名	女性の活躍推進事業
2. 実施期間	令和5年4月1日　～　令和6年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	企業・事業所の働き方改革、ワーク・ライフ・バランスへの主体的な取組を促し、働きたくても働けない女性の「働く」という希望を実現し、社会に埋もれている女性の能力が発揮されることで、本市の地域・経済の活性化の好循環を生み出すきっかけとする。 イクボス宣言企業に「イクボス」、「働き方改革」、「ワーク・ライフ・バランス」について継続的に情報提供や助言を行うことにより、誰もが働きやすい職場環境の整備を促進し、働きたい、働き続けることが出来る企業を増やし、優秀な人材の確保と女性の就業率の向上をめざすとともに令和3年度に結成した市内イクボス宣言企業のネットワーク「イクボスKOKAネットワーク」の組織拡大と年間を通じたセミナーや意見交換会、先進地研修などを実施し、管理職、経営者の意識改革を図り、管理職への女性の登用を促進する。 また、企業と地域、学校が連携し、若者の定住促進と企業の人材不足の解消、職場や地域における女性の登用促進を図る。 併せて、多様な働き方の選択肢の一つである「起業」という働き方の普及促進と、市内で起業したい、起業している女性の様々な不安を解消し、起業へのモチベーションの向上と起業女性の事業継続を支援し、地域活性化を図るとともに、多様な働き方の提案や起業したい女性や働きたい女性など、同じ悩みや思いを持つ仲間との交流の場を提供し、女性の起業、キャリアアップ、キャリア継続を促進する。
4. 事業内容	1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 ①全体キックオフ事業 7月13日、キックオフ講演会を実施した。参加者人数は、参加企業が65社、参加者延べ226名であった。第一部では「人生に欠かせないワーク・ライフ・バランスー豊かで幸せな人生のために」をテーマに、つるの剛士氏をゲスト呼びしトークセッションを実施した。第二部では「企業が成長するためには何が必要かーWLB・イクボス・女性活躍について」甲賀市長、市内イクボス宣言企業、県内イクボス宣言企業とのトークセッションを実施した。 ②イクボス展開セミナー 8月23日、9月13日、10月18、11月21日計4回、、「経営者」「管理職」「労務担当者」「次世代リーダー」と対象を分け、イクボスの考え方や実践するうえで必要なことを理解し、各社や各自が抱える課題について解決策を探るセミナーを実施した。参加企業は4日間で延べ8社(34人)であった。 ③イクボスKOKAネットワークインターシップ 若者の定住促進や企業・事業所の人材不足解消のため、イクボスKOKAネットワーク企業を中心にインターシップを実施する予定であったが、参加の応募がなかったため、仕組みの構築、事業の周知・募集にとどまった。 ④女性のデジタル人材育成セミナー事業 12月10日、業務の効率化を図るため、DXやITの基礎とすぐに使えるExcelの実務等を学ぶセミナーを、女性社員を対象に実施した。参加企業は5社(5人)であった。 2. 女性の起業支援事業(KOKAーCOMACHIネットワーク事業) ①女性のためのオンライン起業相談 6月から1月まで毎週水曜日に市内で起業したい、起業している女性を対象に、女性相談員によるオンライン起業相談を実施した。(利用者数:42人、延べ108人) 起業相談の利用者には、甲賀市商工会の女性創業セミナー、創業塾への参加を促し、起業に向け、商工会と連携し伴走支援を行った。(創業セミナー等受講者数:9人) ②COMACHI会 7月から1月まで毎月第3木曜日に上記オンライン起業相談利用者を対象に、セミナーと交流会を実施した。(参加者数延べ:65人) 甲賀市商工会や支援機関担当者がCOMACHI会に参加し、支援機関と起業女性の支援体制を構築できた。 また、「KOKA-COMACHI」の商標登録を行ったことで、今後も、この商標を使用した事業展開が可能となったので、ふるさと納税などデジタルを活用した効果的な販路開拓や集客方法を中心に専門の講師によるセミナーを開催した。 ③地域クラウド交流会 8月27日に上記COMACHI会の参加者から4人、商工会の創業塾の参加者から1人、自らビジネスプランを発表を行い、販路開拓および資金調達の実践的な機会とし対面型クラウドファンディングを開催した。(参加者数:133人) ④KOKAーCOMACHIマルシェ 11月25日に上記のCOMACHI会で学んだスキルの実践の場として、チャレンジマルシェを行った。事業後のアンケートでは、「課題が把握できた」という声が多くあり、起業に向けてのモチベーションアップを図ることができた(出店数:7事業者)
5. 事業効果及び効果検証の概要	1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・キックオフ講演会では、タレントをお迎えすることで企業のみならず多くの市民の参加を促し、育児・仕事・趣味などを通したワーク・ライフ・バランスについて学びを深め、広めることができた。また、市内・県内の企業の先進事例や取り組みを学ぶことで、自社の課題について改めて気づくことができたとともに、ワーク・ライフ・バランスの必要性など共通理解を図ることができた。 ・イクボス展開セミナー事業では、階層別にイクボスの理念・実務を伝えることで、経営者から一般職員まで通してイクボスの考え方等が浸透した。また、各回情報交換会を行うことで、様々な共通理解を図ることができた。 ・インターンシップ事業では、実施はできなかったものの、イクボスKOKAネットワーク独自の仕組みづくりと事業の共通理解、周知ができた。 ・女性のデジタル人材育成セミナー事業では、DX・ITの基礎知識、DXを利用して業務を効率的に進める人材育成について学び、DX・ITの必要性を再確認するとともに、DX・ITを身近に感じる事ができた。 2. 女性の起業支援事業(KOKAーCOMACHIネットワーク事業) ①オンライン起業相談では、今年度の実相談者数42名のうち、昨年度より引き続き相談を行った人数が20名であり、単発的な支援ではなく伴走支援を望む傾向が高いことがわかった。起業段階に応じたきめ細かい相談により、これまで趣味の延長で活動していた方や、漠然と起業したいが何から始めたらいいかわからないといった相談をしていた方が、事業を行うために資格を取得する、起業家の集まりに加わり人脈を広げる、集客のためにSNSを始める、ビジネスモデルを組み立てる、販路について考える等々、精力的に行動されるようになった。オンラインという手法により気軽に相談ができたことと、いつ相談申込をしても同じ人間が対応してくれるという安心感と信頼感が構築できたため、高いリピート率と満足度に繋がった。 ②COMACHI会では、オンライン相談利用者を対象としたことにより、参加者に必要な情報や学びがどのようなものか事前に把握できたため、参加者にとって有益な内容を学ぶことができた。また、毎回甲賀市商工会の職員による情報コーナーを設け、その後の交流会にも参加してもらったことにより、女性起業家と商工会の繋がりを作ることができた。商工会でどのような支援が行われているのか、どのような職員が対応にあたってくれるのか具体的に知るきっかけとなり、顔の見える関係性を構築したことにより、商工会で開催された創業塾等に9名が参加した。 ③地域クラウド交流会では、人前でビジネスプランを発表するために、自身が本当にやりたいこと、自分の思いや強み、これからの展望を整理する機会となった。起業家だけでなく、地域の人たちが参画することで、地域全体のビジネスの活性化に繋がるきっかけになった。 ④KOKAーCOMACHIマルシェ は、COMACHI会で学んだスキルの実践場としてチャレンジショップを開催し、自らの課題を抽出し事業のブラッシュアップに繋がった。

6. 目標達成度及び達成状況に対する評価		1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・イクボスKOKAネットワーク事業参加企業を令和5年度末までに20社に対する目標に対して、今年度は新たに5社が参加し、合計18社となった。 ・市内企業における男性の育児休業取得率は令和5年度末までに47.3%と目標に達した。 2. 女性の起業支援事業(KOKA－COMACHIネットワーク事業) ・オンライン起業相談の利用者数は42人であり、目標値の50人には届かなかったものの、事業実施後のアンケートでの満足度のはほぼ100%で継続を望む声が多く寄せられた。 ・オンライン起業相談利用者でCOMACHI会への実参加者は28人であり、目標値の45人には届かなかったもの、事業実施後のアンケートでは同じ思いを持つ仲間と繋がりたい、起業に必要な知識を習得したいという声が多く寄せられた。							
7. 今後の課題		1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 イクボスや働き方改革、女性活躍について取り組む企業を増やすためさらなる啓発を行うとともに、イクボスKOKAネットワークの参加企業の拡大が必要である。また、イクボスKOKAネットワークと地域、県内高校と連携し、若者の定住促進と企業の人材不足の解消と職場や地域における女性登用の促進を図る必要がある。 2. 女性の起業支援事業(KOKA－COMACHIネットワーク事業) オンライン起業相談、COMACHI会のアンケート結果では、継続を希望する声が多くあることから、引き続き、起業段階に寄り添った伴走支援が必要である。 今後は、SNSなどDXを活用した販路拡大やビジネスマッチングなどの支援が必要である。							
8. 事業の実施体制		・甲賀市企業人権啓発推進協議会:事業共催、事業チラシの配布等、事業参加 ・甲賀市工業会:事業参加、事業協力、事業チラシの配布等 ・甲賀市商工会:事業参加、事業協力、事業チラシの配布等 ・イクボス宣言企業:キックオフ講演会、各種セミナー、イクボスKOKAネットワークへの参加 ・イクボスKOKAネットワーク企業:事業参加、事業広報 ・子育て支援団体・女性活動団体:事業参加、事業広報 ・市内金融機関:事業参加、協力、事業チラシの配布・掲示 ・市内で起業している女性:事業参加、事業広報							
9. 経費の内訳 (単位:円)									
事業 番号	個別事業名	公募要領の 取組例	予算措置年 度	交付決定事業	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備 考
1	ワーク・ライフ・バランス推進事業	2(1)	5年度当初予算	4年度補正予算	3,708,635	1,854,000		1,854,635	
2	女性の起業支援事業 (KOKA－COMACHI ネットワーク事業)	4(2)	5年度当初予算	4年度補正予算	4,546,126	3,409,000		1,137,126	
					0				
					0				
	合 計				8,254,761	5,263,000	0	2,991,761	
10. 担当者名及び連絡先		所属部署:産業経済部 商工労政課 女性活躍推進室 氏名:徳田 由香里、松井 多香子 電話番号:0748－69－2189 電子メールアドレス:koka10351000@city.koka.lg.jp							
11. 事業実施及び連携工程		様式4－2－1に記載							

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4－2－2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)～(5)、第4【取組例】(1)～(3)、第5【取組例】(1)～(9)、第6又は第7【取組例】(1)・(2)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「4年度当初予算」、「4年度補正予算」、「5年度当初予算」、「5年度補正予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の「交付決定事業」について、「4年度予算(予備費)」、「4年度補正予算」、「5年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。